

令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：名栗地区行政センター

日時：令和6年4月25日（木）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

今年度から国民一人当たり1,000円、森林環境税が徴収され、これが国庫に入り、森林環境譲与税ということで市町村に分配される。横瀬町、小鹿野町が都市部との連携を進めていると聞いた。分配は人口比で、山間部は人口が少ない。都市部は人口が多い。山間部には少額しか配分されないことになる。この辺について、飯能市としてどのように進めていくのか。

森林文化都市になって10数年が経過し、飯能市森林整備計画も第7次である。成果があまり見えていない気がする。分収林については、第7次飯能市森林整備計画でもテーマとして記載されている。飯能市がもう少し積極的に対応してほしい。分収林は30年の契約で今年度が30年目の年である。名栗地区に100近い分収林の団体がある。市として協力をしてほしい。

【回答】

森林整備を行うには、まず、最初に境界の確定作業が必要であり、現在取り掛かっているところです。しかし、飯能市は広大な森林面積があり、直ぐには完了はできません。ただ、ある程度のところで見通しをつけて、森林整備に向けて取り組んでまいります。森林環境譲与税につきましては、制度自体の懸念点につきまして、埼玉県知事から国への申し入れをしております。分収林の関係ですが、かなり大きな問題になっており、これもタイムリミットがございますので、ここで本格的な分収林の整理に向けて取り組んでいくように担当に指示をしております。やはり林業の復活、再生に関しては、行政だけ民間だけ事業主だけとはいきませんので、数日前に、飯能商工会議所、飯能市、埼玉県、木材業組合で、建築物木材利用促進協定を締結し、林業の再生、森林の復活に取り組んでいこうと意志を確認したところでございます。その関係につきましては、今後、お知らせできればと思っております。

【ご意見②】

20数年前に名栗地区に転入し、大変環境が良いということで住み続けている。非常に環境、自然も良く、住みやすいと実感しているが、最近、お子さんの姿が非常に少ない。見当たらずに感じる。たまに川遊びしているお子さんの姿を見かけるが、家族連れで、市外から来られたご家族が多く、なかなか地元のお子さんの姿が見当たらない。非常にお子さんが少ないということで、イコール過疎化に進んでいくのではないかと少し心配している。また若い家族や親御さんがここに住みたいというようになることをすごく希望する。

名栗幼稚園は、地元西川材を使用した非常に立派な建物。環境も園庭も良く、若い親御さんはこういった所でお子さんを育てていきたいと思う方は沢山いると思う。

名栗幼稚園のバスの送迎範囲が限られており、バスなしでの送迎が難しいという声を聞く。送迎バスの範囲を広げてほしい。

【回答】

人口減少というご指摘ですが、これにつきましては、地域の方もそれを阻止するため、色々と努力していただき、非常に有難く思っております。市としても、それに歯止めをかけられればということで、色々な施策に取り組んでいるところでございます。ただ、なかなかそれ以上のスピードで人口減少が進んでいるのも事実でございます。引き続き努力してまいります。

名栗幼稚園のバスの送迎範囲を広げてほしいということですが、民間の幼稚園のバスのルートもでございます。送迎範囲を広げて、名栗幼稚園へ来ていただくことは助かりますが、民業圧迫にも繋がりますので、この辺がなかなか市として踏み込みづらい、踏み込めないところがございますのでご理解いただければと思います。

【ご意見③】

名栗小学校PTAで、昨年から「なぐりで」というホームページを作った。

こちらは名栗小学校の枠を超えて、名栗小学校の教育だけでなく、名栗に住んでいる人々や名栗の暮らしそういうものをホームページに盛り込んで、名栗の魅力を伝える内容になっている。是非、市長や皆さんに見ていただきたいと思う。

今、名栗小学校は児童数が少ないというお話があったが、少ないながらも先生が目が行き届き、そして、保護者と先生、地域と学校が密にコミュニケーションが取れる。それが利点だと思うので、今後も名栗小学校にご協力をお願いしたい。

【回答】

ご意見ありがとうございます。ホームページにつきましては、後程拝見させていただきます。

【ご意見④】

子育て支援のボランティア活動が続いている。子どもたちが少なくなっていることは直視しなくてはならない問題。働く親が安心して子どもを預けて働けるような場所、名栗には名栗幼稚園しかないのも、是非、幼稚園をこども園という形にできないかと思っている。やはり、働く親が、子どもに幼稚園教育を受けさせながら働きたいという、保育所とはまた違う、幼稚園教育を受けながら保育所の機能があるところに預けて働きたいという方もいると思う。大切な資源。是非、幼稚園、小学校を残していかなくてはならないと思い、私たち地域の人間も努力していかなくてはいけないと思っている。

市長には、いつも子育て支援でご尽力いただき、助かっている。

飯能市は子育てしやすいまちを標榜しているので、是非、今後も子育て支援を継続していただき、飯能で子育てしたいという人たちが増えるようなまちづくりをしていただけたらと思う。

【回答】

貴重なご意見ありがとうございます。引き続き努力してまいります。

【ご意見⑤】

名栗幼稚園バスの送迎延長について、昨年、要望書と4,000名近い署名をお渡しした。署名をお渡ししてから1年ほど経過し、1年以上かけて教育委員会と面談を何度も重ねてきたが、現時点で進展はしていない状況が続いている。先程市長の方からも私立の幼稚園の声も無視できないということでお話があり、民業の圧迫をしかねないということだった。改めてご意向を確認したい。

【回答】

民間の幼稚園の関係であり、民業の圧迫になりますので、バスの送迎関係につきましては、進んでないというのが現状でございます。非常に難しい。市がどこまでお願いできるのか。これにつきましては限界がございますので、なかなか進まないのが現状でございます。ご理解いただければと思います。

【ご意見⑥】

飯能市で林業をしている。飯能市内で林道が壊れていて通行止めになっているところが複数ある。そのような林道の整備について、どのような計画でやっているのか、毎年、整備計画等に載っていないので、市としてどうしていくのか教えていただきたい。また、林道毎に市、県、森林組合など管理者がそれぞれ違う。森林整備に支障が出ないように市としてとりまとめてほしい。

【回答】

林道の場合は、市が管理する林道と県の林道と森林組合の林道と何種類もあります。林道ごとに管理者がおりまして、その管理者の方で管理しております。

市が管理する林道につきましては、何か支障があれば、森林づくり課が担当しており、現地をパトロールしておりますので、修繕をしております。こういったところがどのようにと具体的な例がありましたら、まずは市に言っていただければと思います。いきなり県や森林組合では分かりかねると思いますので、まずは市の方に言っていただければと思います。

森林整備には林道は欠かせませんので、その辺は十分理解しております。早速、担当部署に声をかけて、対応を協議させていただきます。

【ご意見⑦】

能登半島地震で報道されていることで2点ほど気になっていることがある。

1点目は地域に孤立地区が出ないように、衛星を使った通信を取り入れることを地域防災計画の中に謳っていたが、実際は実現（整備）できていなかった。実現できなかった理由は色々あったようだ。

2点目は、指定されている避難所に行ったら、鍵が施錠されていた。消防がガラスを割り、鍵を開け、避難したという事が複数あったとのこと。それに関連して旧名栗中学校は、飯能市のハザードマップを見ると避難所として明確に表示されている。この場所の鍵はどなたがお持ちなのか。また、普段使用していないところを、いざ、避難した時にきちんと避難所として使用できる維持管理は、どなたが、どのように行われているのか。

【回答】

衛星通信の件につきましては、参考とさせていただきます。

旧名栗中学校は避難所として使えるよう改修しております。鍵は地区行政センターで管理をし、災害時には速やかに対応できるような体制をとっております。周知につきましては、地区行政センターを通じてお知らせしたいと思います。